

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

さまざまな事物・現象に対して、比較や分類、観察を通して本質を探る力を育てる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算を含む問題に苦手意識をもつ生徒がいる。</li> <li>事実に基づいて自分の考えをまとめ、適切に表現し説明することが苦手な生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りの時間を確保し、演習を行い、理解したことを活用させる。</li> <li>理科の計算に関連し、数学的な基礎的・基本的内容について補充しつつ量的な関係について理解を深めさせる。</li> <li>重要語句の意味理解や、図表の活用を行い、正しく説明できる資質向上を促す。</li> <li>課題を設け、家庭学習の充実を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間</li> <li>単元導入時</li> <li>適宜</li> <li>適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>活発に発言する生徒がいる半面、話し合いに参加せず、何もしない生徒もいる。</li> <li>問題演習が苦手な生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間に学んだことを復習する。</li> <li>授業で学んだことをその日の宿題にする。</li> <li>授業時間中に重要語句を書く時間を作る。</li> <li>1人1台端末で問題演習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や応用問題が苦手な生徒が多い。</li> <li>学んだときは覚えているが、次の時間には忘れてしまう生徒もいる。</li> <li>実験の考察が苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間に学んだことを復習する。</li> <li>授業で学んだことをその日の宿題にする。</li> <li>授業時間中に重要語句を書く時間を作る。</li> <li>1人1台端末で問題演習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間</li> </ul>	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 実験の考察、問題演習などで、班で話し合い考えを深める。
- 2年 実験の考察、問題演習などで、班で話し合い考えを深める。
- 3年 演習や実験結果をもとに少人数で話し合い考えを深める。

■1人1台端末の活用に関連して

- 1年 課題の調査・まとめ、演習を行う。
- 2年 単元終了後、1人1台端末で問題演習を行う。
- 3年 単元終了後、1人1台端末で問題演習を行う。

